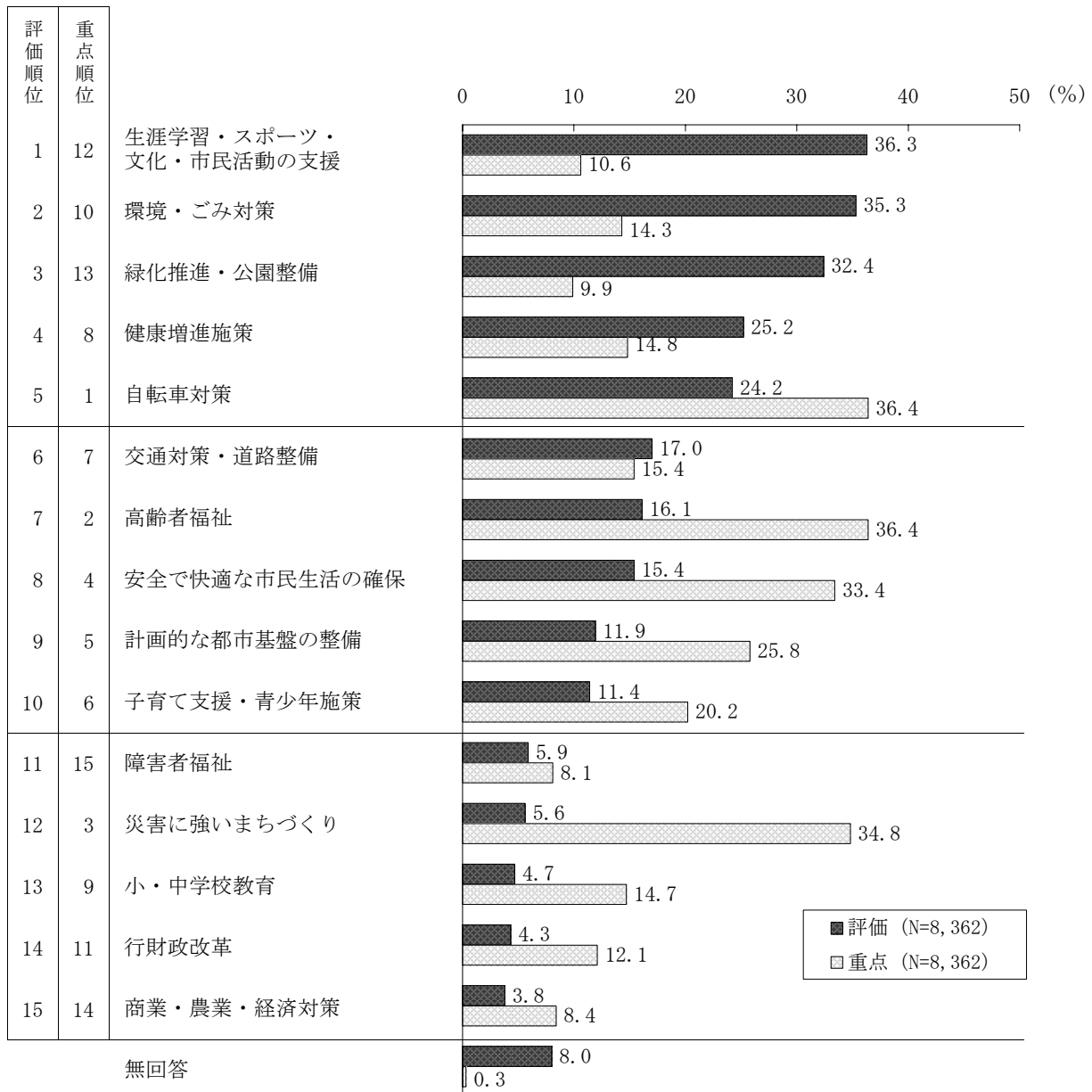


3 評価施策 × 重点施策分析

図17 評価施策 × 重点施策分析 (全体)



□評価施策・重点施策 上位3項目

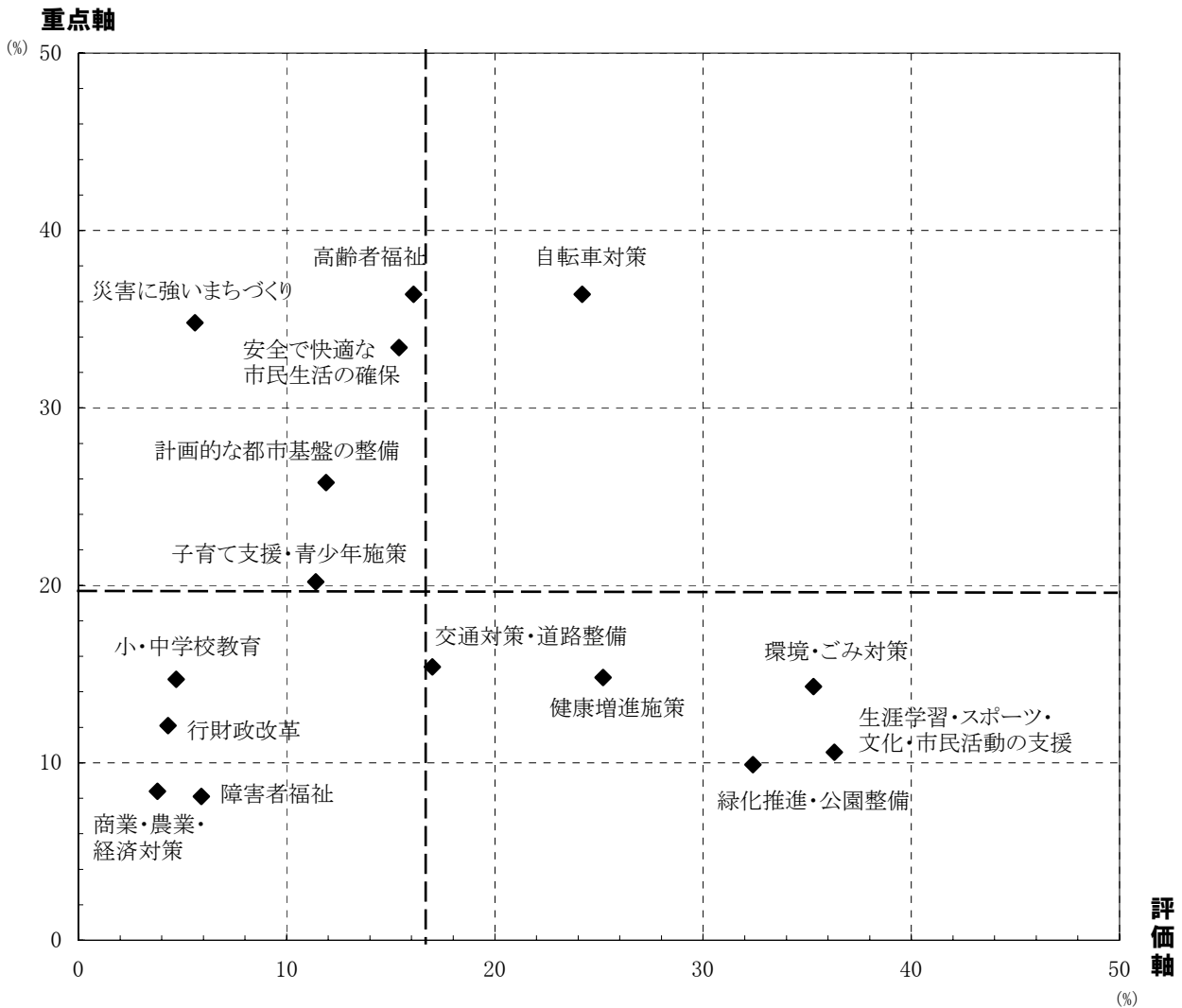
	評価項目 (N=8,362)	重点項目 (N=8,362)
第1位	生涯学習・スポーツ・文化・市民活動の支援 (36.3%)	高齢者福祉 (36.4%)
第2位	環境・ごみ対策 (35.3%)	自転車対策 (36.4%)
第3位	緑化推進・公園整備 (32.4%)	災害に強いまちづくり (34.8%)

重点施策の割合より、評価の割合が10ポイント以上上回った項目は、「生涯学習・スポーツ・文化・市民活動の支援」(+25.7ポイント)、「緑化推進・公園整備」(+22.5ポイント)、「環境・ごみ対策」(+21.0ポイント)、「健康増進施策」(+10.4ポイント)の4項目でした。

反対に、重点施策の割合より評価の割合が10ポイント以上下回ったのは、「災害に強いまちづくり」(-29.2ポイント)、「高齢者福祉」(-20.3ポイント)、「安全で快適な市民生活の確保」(-18.0ポイント)、「計画的な都市基盤の整備」(-13.9ポイント)、「自転車対策」(-12.2ポイント)、「小・中学校教育」(-10.0ポイント)の6項目でした。

とりわけ、「災害に強いまちづくり」は重点施策としての要望が高いことから評価との乖離が大きくなっています。

図18 評価施策 × 重点施策分析 (全体)



評価施策と重点施策の2項目を掛け合わせたグラフでみたところ、まず、評価も高く、重点も高い項目（右上）は、「自転車対策」の1項目でした。

次に、評価は高いが、重点は低い項目（右下）は「生涯学習・スポーツ・文化・市民活動の支援」、「環境・ごみ対策」、「緑化推進・公園整備」、「健康増進施策」、「交通対策・道路整備」の5項目でした。

今後、最優先で取り組むべき課題にあたる、重点は高いが、評価が低い項目（左上）は、「災害に強いまちづくり」、「高齢者福祉」、「安全で快適な市民生活の確保」、「計画的な都市基盤の整備」、「子育て支援・青少年施策」の5項目でした。

最後に、重点も評価も低い項目（左下）は、「小・中学校教育」、「行財政改革」、「商業・農業・経済対策」、「障害者福祉」の4項目でした。